

学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

1. 学生の修学支援

- ・年度当初に各学年の学部・学科ごとにオリエンテーションを行い、当該年度の修学方法について、教員が詳細に亘って指導する。
- ・クラス担任制度
栄養学部では、各学年にクラスを担当する教員を置き、日常、修学上の指導・助言を行っている。
心理学部では、ゼミ単位で指導する。

2. 進路選択支援

甲子園大学では、学生が卒業後に自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要とする能力を、教育課程内外の教育・指導を通じて培うことができるように、次の基本的な考え方のもとに各種の施策を実施する。

2 回生から教育課程にキャリア教育科目及び専門教育科目を設定するとともに、教育課程外の取り組みを充実し、体系的・総合的にキャリア教育・職業教育を実施する。

□ 教育課程内の取り組み

1. 教養教育について

キャリア教育科目として、次の科目を開設する。

(1) 2 回生後期より「キャリアデザイン□」を開設

概要／「就職意欲」を高めることを第一とし、「学生力」を「社会人力」につなげる。

実際に社会で働いている多くの人たちの話を聴く中で、自身の「就業観」を育み、キャリアプランを作っていく。

(2) 3 回生の前期に「キャリアデザイン□」、後期に「キャリアデザイン□」を開設

概要／ 就職活動に必要な一連の知識やスキルを学ぶ中で、「社会人力」をさらに高めていくとともに、自身の就職先を具体的にイメージしていく。

2. 専門教育について

専門教育への導入ともなる「基礎セミナー」(栄養学部基礎演習科目、1・2 回生)、「心理学基礎セミナー」(心理学部、1・2 回生)をはじめ、各学部の特色とする専門教育を通じて、キャリア教育・職業教育を実施する。3 回生を中心に「臨地実習」(栄養学部栄養学科、3・4 回生)系科目、「コミュニティⅤ」(栄養学部食創造学科、3 回生)「仕事体験(心理学部)」・「心理実習」(心理学部、3 回生)を開設し、これまでに培ってきた力を実際の就業体験・現場体験で確かめ、その後の大学生活でさらに伸ばし、社会人資質の醸成へとつないでいく。

□ 教育課程外の取り組み

エクステンション講座(基礎講座、ステップアップ講座)、キャリアサポートセンター等による様々な就職支援・個別指導の取り組みなどを実施する。

〈キャリア支援科目（一部関連科目を含む）〉

令和 5 年度入学者より適用

区分	栄養学部		心理学部
	栄養学科	食創造学科	現代応用心理学科
3 回生	キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ 仕事体験(心理学部)
2 回生	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅠ

本学では、各学部、共通教育推進センター、キャリアサポートセンター、教務課等が連携し、上記の□及び□を体系的・総合的に実施することにより、学生一人一人の社会的・職業的自立に向け必要となるコミュニケーション能力や課題解決能力の向上を支援し、キャリア形成を促すものとする。

また、当該取り組みをより充実したものとするため、適宜、社会の要請に応じて積極的に見直しを行うものとする。

3. 心身の健康等に係る支援

【健康管理】

（1）保健管理センター

保健管理に関する業務を行う施設として、6号館1階に保健管理センターがある。保健管理センターには、保健管理センター長(医師)と看護師が勤務し、大学構成員の保健管理に関する業務を行っている。毎年、全学生対象にレントゲン検査、心電図検査、身体測定などの定期健康診断を行う。また、日常の健康相談にも応じている。

【学生相談】

（1）学生生活相談室

学生の心身の健康（心の悩み）への支援を行うため1号館2階に「学生生活相談室」を設置し、臨床心理士もしくは公認心理師の資格を持った担当者が相談にあたっている。

【開 室 日】週1回または2回開室

【開設時間】10時～15時

（2）修学支援室

合理的配慮に関する支援提供に向け、障がいのある学生が、障がいのない学生と平等に修学できる機会を保障するための調整を行っている。単位取得や卒業の保証をすることはないが、学内での社会的障壁を取り除くための調整を行い修学を支援している。

【開 室 日】週1回または2回開室

【開設時間】10時～15時